



# IT革命への国の政策

# IT革命とは

- IT = Information Technology の略  
情報技術を指す
- インターネットが商業化された1995年以降に加速
- インターネットを通じて、世界中の情報を簡単に低コストで  
入手可能  
⇒ 経済・社会に大きな確変が起きる



# 日本のIT政策-ICTインフラの整備

目標 ICTインフラにより、インターネットを利用できる環境を整備する

- 2000年 **IT基本法**（高度情報通信ネットワーク社会形成基本法）

ITを駆使して国民がインターネットをはじめとするネットワーク通信の利便性を享受できる環境の形成と、創造的で活力ある社会の確立を実現するための理念

- 2001年 **e-Japan戦略**

IT基本法に基づき、IT国家戦略として公表された

→ICT化に向けて国全体として推進するための体制が整備されるとともに、ICT化による実現するビジョン等を定めた国家戦略が策定



# IT基本法

- 円滑な高度情報通信ネットワーク社会実現に理念や方針を定めた

→あくまで基本方針を決めたもので、具体的な取り組みを定めたものではない



# e-Japan戦略

すべての国民がITのメリットを享受できる社会

- 超高速インターネットインフラ整備

経済構造の改革の推進と産業の国際競争力の強化が実現された社会

- 電子商取引の促進

ゆとりと豊かさを実感できる国民生活と、個性豊かで活力に満ちた地域社会が実現された社会

- 電子政府の実現

地球規模で高度情報通信ネットワーク社会の実現に向けた国際貢献が行われる社会


- 人材育成の強化



# e-Japan戦略Ⅱ(2003年)

- 第一期で整備されたIT基盤を活かして社会・経済システムを積極的に  
変革

→「社会全体が元気で、安心して生活でき、新たな感動を享受できる、これまで以上に便利な社会」を目指す

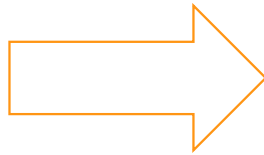


国民にとって身近で重要な7つの分野において先導的取り組みを進める



# 7つの分野

1. 医療
2. 食
3. 生活
4. 中小企業金融
5. 知
6. 就労・労働
7. 行政サービス



7分野の成果をほかのIT利活用分野へ展開



# u-Japan政策



- ユビキタス ICTが生活の隅々に融けこむことによって、これまで通信機器とは思われていなかったものも含め、あらゆる人や物が結びつくという基盤性に着目した理念→ユビキタスネット社会の実現

ユニバーサル

- 人にやさしい心と心のふれあい

ユーザー

- 利用者の視点が融けこむ

ユニーク

- 個性ある活力が湧き上がる





# u-Japan政策

## ユビキタスネットワーク整備

- 国民の100%が高速または超高速を利用可能に

## ICT利活用の高度化

- 国民の80%がICTは課題解決に役立つと評価する社会に



## 利用環境整備

- 国民の80%がICTに安心感を得られる社会に



# デジタル庁

- デジタル社会の司令塔
- マイナンバーカード、電子署名、電子委任状などの普及
- サイバーセキュリティの強化
- マイナポータル  
など



## まとめ

- 日本はIT革命に対してIT基本法、e-Japan戦略、e-Japan戦略Ⅱ、u-Japan政策を打ち出し、国民の生活にICTなどを浸透させた。
- 最近ではデジタル庁によるマイナンバーを中心としたデジタル社会実現のための計画が進められている。



# 参考サイト

IT革命とは-知るぼると (<https://onl.bz/C3mZANC>)

我が国におけるデジタル化の歩み-総務省

(<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r03/pdf/n0000000.pdf>)

IT基本法（高度情報通信ネットワーク社会形成基本法）-セラク

(<https://www.seraku.co.jp/columns/glossary/itbasiclaw/>)

u-Japan政策-総務省

([https://www.soumu.go.jp/menu\\_seisaku/ict/u-japan/](https://www.soumu.go.jp/menu_seisaku/ict/u-japan/))